



ペンテコステ
聖霊降臨日礼拝

み言葉の礼拝

2021年5月21日（金）17:45

立教学院諸聖徒礼拝堂

I ともに集う

前 奏

前奏とともに黙想し、礼拝に臨む心を整えましょう。
司式者と奉仕者は入堂して、席に着きます。

開式の点鐘（オープニング・ベル）

一同立ち、次の聖歌を歌います。その間に、祭壇に献香します。

聖 歌 197「吹きすさぶ風」 (式文 14 頁)

この祈りの時が、聖霊で満たされることを求めて交唱します。

司式者 ちんもく ま 沈黙して待っていたわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

司式者 ことば き み言葉を聞くわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

司式者 おお ちから あが 大いなる力を崇めるわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

司式者 あら かぜ ま のぞ 新たな風を待ち望むわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

司式者 ふたた あゆ だ 再び歩み出そうとするわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

司式者 た まも もと 絶えずみ守りを求めているわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

司式者 ちから ま のぞ み力を待ち望むわたしたちを

会衆 せいれい み 聖霊で満たしてください

続いて、「大栄光の歌」を歌います。

大栄光の歌

これは、主イエス降誕の夜、羊飼いたちが野原で聞いた天使たちの歌、救い主の到来を歓迎する言葉（ルカによる福音書2章14節参照）に始まり、三位一体の神への賛美で結ばれる、キリスト教礼拝における最も古い賛歌（賛美の詩）です。
今日の祝祭のはじめとして、一同で賛美しましょう。

前奏



いとたかきところにはかみにえいこう



地にはみこころにかなうひとびとにへいわがあります

オルガン



ようにぜん能の



ちちてんの王主なるかみよ主をおがみ主に感謝し



主のえい光をほめたたえます

オルガン



ちちのひとり子主イエスキリスト



オルガン

世のつみをのぞくかみの小ひつじ

主なるかみよ わたしたちにあわれみを

オルガン
おあたえください ちちのみぎに

ざしておられる主 - よ わたしたちのいのりを

オルガン
うけいれてください

イエスキリストよ 主のみ聖 主のみ王 主のみせいれい

ととともに ちちなるかみの えいこうのうちに もつとも

rit.
たかくおられま - す ア - - - メン

特 禱

司式者 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司式者 祈りましょう

ここで「聖霊降臨日」の特禱を用います。

全能の神よ、この日あなたは、約束された聖霊の降臨によって、すべての民族、国民に永遠の命の道を開かれました。どうか福音の宣教によって、この聖霊がますます世界に注がれ、地の果てにまで広がりますように、聖霊の一致のうちに父と一体であり、世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

Ⅱ と も に 聞 く

司式者 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席します。

第1朗読 使徒言行録 第2章 1~11節

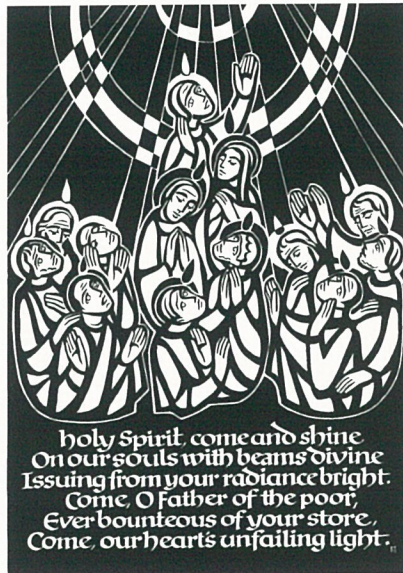
朗読者 第1の朗読は、使徒言行録 第2章 1節から

¹五旬祭の日が来て、皆が同じ場所に集まっていると、²突然、激しい風が吹いて来るような音が天から起こり、彼らが座っていた家中に響いた。³そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。⁴すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、他国の言葉で話した。

⁵さて、エルサレムには天下のあらゆる国出身の信仰のあつい人々が住んでいたが、⁶この物音に大勢の人が集まって来た。そして、誰もが、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられた。⁷人々は驚き怪しんで言った。「見ろ、話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。⁸ どうして、それぞれが

生まれ故郷の言葉を聞くのだろうか。⁹ 私たちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、¹⁰ フリギア、パンフィリア、エジプト、リビアのキレネ側の地方に住む者もいる。また、滞在中のローマ人、¹¹ ユダヤ人や改宗者、クレタ人やアラビア人もいるのに、彼らが私たちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」

朗読者 第1の朗読を終わります



詩編 104編 (30-35)

(次頁参照)

会衆は着席のまま、詩編のアンティフォン（答唱：楽譜の部分）を聖歌隊に続いて一同で歌います。詩編各節は聖歌隊のみが歌います。

詩編104編 (30-35)

聖歌隊 ハンドベル 聖歌隊 ハンドベル

2021 SS Tone 1

アンティフォン (全員)

PS 104 SS 2021

アンティフォン

30. あなたが息を送られると、| すべて は 生き || 地の面は | 新たに | なる
31. 主の栄光は | とこし え に || 主がその御業を | 喜ばれる | よう に

アンティフォン

32. 神が目を注がれると、地は揺れ | う ご き || 山々に触れられると | 煙を | 吐 く。
33. 私は生涯、主に向かって | う た い || 命ある限り、 | わが神をほめ | 歌 う

アンティフォン

34. わたし うた が御旨に かな 合う | よ う に || 私は | 主にあって | 喜 ぶ。
35. 罪人は地から消えうせ、あ 悪しき者はもはやいなくなる | よ う に ||
- わたしたましい しゅ 私の魂よ、 | 主をたたえよ、 | ハレル ヤ。

アンティフォン

福音書 ヨハネによる福音書 第14章8~17節

一同立って、福音書が読まれる方を向きます。福音書には献香します。

朗読者 ^{しゅ みな} 主は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

朗読者 ^{せい} 聖ヨハネによる福音書 ^{ふくいんしよ だい しょう せつじ か しる} 第14章8節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光

会衆 ^{しゅ えいこう} 主に栄光がありますように

⁸ フィリポが、「主よ、^{しゅ わたし おんちち しめ} 私たちに御父をお示してください。そうすれば満足します」と言うと、⁹ イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、私が分かっていないのか。^{わたし み もの ちち み} 私を見た者は、父を見たのだ。なぜ、『私たちに御父をお示してください』と言うのか。¹⁰ 私が父の内におり、父が私の内におられることを、信じないのか。^{わたし} 私があなたがたに言う言葉は、勝手に話しているのではない。父が私の内におり、その業を行っておられるのである。¹¹ 私が父の内におり、父が私の内におられると、私が言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。¹² よくよく言うておく。^{わたし しん もの わたし おこな わざ} 私を信じる者は、私が行う業を行うだろう。そればかりか、もっと大きなことを行うであろう。私が父のもとへ行くからである。¹³ 私の名によって願うことを何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。¹⁴ 私の名によって願うことは何事でも、私がかなえてあげよう。」

¹⁵ 「あながたが私を愛しているならば、私の戒めを守るはずである。¹⁶ 私は父にお願いしよう。父はもうひとりの弁護者を遣わして、永遠にあながたと一緒にいるようにしてくださる。¹⁷ この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、それを受けることができない。しかし、あながたは、この霊を知っている。この霊があながたのもとにおり、これからも、あながたの内にいるからである。」

朗読者 ^{しゅ かんしゃ} 主に感謝

会衆 ^{しゅ かんしゃ} 主に感謝します

一同、着席してチャプレンのメッセージを聞きます。

説教（メッセージ）

ハンドベルクワイアによるアンセム

Come Holy Ghost, Our Souls Inspire Lord God, to You We All Give Praise
by Kevin Hildebrand

使徒信經

一同立ち、キリスト教会がその最初期に定めてきた信条（信仰宣言）である「使徒信經」を唱えます。

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。

また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、聖霊を信じます。聖なる公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

平和の挨拶

司式者 キリストはわたしたちの平和です。主は、聖霊の息吹によって、わたしたちを新たに結び合わせてくださいます

会衆 わたしたちは主のみ名によって出会い、主の平和を分かち合います

司式者 平和の挨拶を交わしましょう

ここで、互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わします。

献げもの

司式者 ^{しゅ すく} 主の救いの^{わざ}み業に^{かんしゃ}感謝し、^{さんび}ともに^{さき}賛美を^{ささげ}献げましょう
^{かみ}神はもうひとりの^{べんごしや}弁護者を^{つか}遣わして、^{えいえん}永遠にあなたが^{いっしょ}たと一緒にいるよう
にしてください。この方は、^{かた}この方は、^{しんり}真理の^{れい}霊である。 (ヨハネ 20:16,17)

ここで、聖歌隊による賛美を、会衆は着席して聞きます。祭壇には献香します、

聖歌隊によるアンセム

Come Holy Spirit, Creator blest

arr. by Michael Bedford

Ⅲ とともに祈る

会衆の代表者は、中央に立って、祭壇に向かって祈ります。
会衆は着席のまま、それぞれの祈りに、「アーメン」と言います。

1・世界平和と社会正義の実現のため

^{しんり}真理と^{へいわ}平和の^{みなもと}源である^{ぜんのう}全能の^{かみ}神よ、^{ひと}すべての^{こころ}人の^{へいわ}心に^{あい}平和を^あ愛するまことの
^{あい}愛を^も燃やし、^{へいわ}平和を^{つく}造り^だ出す^{ちえ}知恵とまことの^{じゆう}自由を^{とうと}尊ぶ^{こころ}心、^{あく}悪と^{たたか}闘う^{ちから}力をお
^{あた}与え^{ください}ください。また^{しゅ}主の^{あい}愛を知る^し知識をこの^{せかい}世界に^み満たし、^{ひと}人びとが^{たが}互いに^{たす}助け
^あ合い、^{しゃかい}社会に^{せいぎ}正義と^{こうへい}公平が^{おこな}行われますように。そして、わたしたちもこれらのた
^{こうけん}めに^{こうけん}貢献することが^{ちち}できますように。父と^{せいれい}聖霊とともに^{いったい}一体であって^よ世々に^い生き
^{しはい}支配して^こおられる^{ねが}み子イエス・キリストによって^{ねが}お願いいたします。**アーメン**

2・学生キリスト教団体のため

^{あい}愛と^{なぐさ}慰めの^{かみ}神よ、^{りっきょうだいがくがくせい}立教大学^{きょうだんたい}学生キリスト^{まも}教^{みちび}団体を^{まも}守り^{みちび}導いて^{ください}ください。どう
^{つら}ぞここに^{ひとり}連なる^{しゆくふく}一人びとを^{かつどう}祝福し、それぞれの^{とお}活動を通して^{ゆた}豊かな^{であ}出会いと
^{めぐ}恵みをお^{あた}与え^{ください}ください。また、キリストの^{あい}愛に^{むす}結ばれて^{ひと}一つの^{からだ}体となり、^{あた}与えら
^{たまもの}れた^{かみ}賜物によって^{ひと}神と^{つか}人びとに^{りっきょうだいがく}仕え、立教大学^{けんがく}「^{せいしん}建学の^{あかし}精神」を^{はたら}証する^{はたら}働き
^{びと}人としての^{つと}務めを^は果たすことができますように、^{しゅ}主イエス・キリストによって^{ねが}お
^{ねが}お願いいたします。**アーメン**

3・こどもたちのため

天の父よ、み子イエス・キリストは幼子を祝福し、神の国はこのような者の国である、と教えてくださいました。どうかこどもたち—ことに立教チャペルに連なるこどもたちが、主のみ旨に従って育ち、心も体も健やかに成長し、信仰の道を学び、主に仕えてみ栄えを現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

4・病気療養中の人びとのため

世の救い主よ、主は十字架の苦しみにによってわたしたちを贖われました。どうか、わたしたち、ことにこの度の新型コロナウイルス感染症の苦しみに、不安の内にある人びとを救い、癒しのみ手を差し伸べてください。また、医療と看護に携わる人びとの働きを助け導き、み力をもってその人びとを守り、励ましてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

5・立教学院・立教大学のため

真理と光の源である神よ、立教学院に連なるすべての人びとを守り、その活動を支えてください。学ぶ者と教える者、またそれを助ける者が、共に勇気と希望を分かち合い、真理と平和を追い求めることができますように。愛の魂と正義の心をもって人びとと出会い、その豊かさをともに喜ぶことができますように。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

6・その他、各自の心の中で—（黙祷）

ひとりひとりで、祈りたい人のために、祈りたいことを心の中でささげましょう。

主の祈り

一同ひざまずくか着席のまま、次の唱和に続いて「主の祈り」を唱えます。

司式者 ^{しゅ}主よ、^{あわ}憐れみをお^{あた}与えください

会衆 ^{あわ}キリストよ、^{あた}憐れみをお与えください

司式者 ^{しゅ}主よ、^{あわ}憐れみをお^{あた}与えください

^{てん}天におられるわたしたちの^{ちち}父よ、

^なみ名が^{せい}聖とされますように。

^{くに}み国が来ますように。

^{てん}みこころが天に^{おこな}行われると^ちおり地にも^{おこな}行われますように。

^ひわたしたちの日ごとの^{かて}糧を^{きょう}今日も^{あた}お与えください。

^{つみ}わたしたちの罪をおゆるしくください。わたしたちも^{ひと}人をゆるします。

^{ゆうわく}わたしたちを誘惑におちいらせず、

^{あく}悪からお^{すく}救いください。

^{くに}国と^{ちから}力と^{えいこう}栄光は、^{えいえん}永遠にあなたのものです アーメン

感謝

司式者 とともに^{いの}祈りましょう

一同 ^{みなもと}すべてのものの^{かみ}源である神よ、あなたは^{とお}遠く^{はな}離れていたわたしたちを、

^こ子との^{であ}出会いをと^{しゅ}おして^{いえ}主の^{まね}家に招いてくださいました。このあなたの^{あい}愛

に^{かんしゃ}感謝し、^なみ名をほめたたえます。あなたから^{ことば}いただいた^{めぐ}み言葉と^{へい}恵みと^{へい}平

和を、わたしたちが^{ひと}すべての^{わか}人びとと^あ分ち合うことができますように。そして

^{せいれい}聖霊の^{みちび}導きにより、あなたの^{ひかり}光でこの^せ世界を^{かい}照らす^て働きにあ^{はたら}ずからせ

てください。また^{あた}与えられた^{きぼう}希望を^か変わる^{たも}ことなく保たせ、すべてのものが

^なみ名をほめたたえることができますように、^{しゅ}主イエス・キリストによってお

^{ねが}願いいたします アーメン

Ⅳ 主とともに行く

司式者 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。 (一同) **アーメン** (Ⅱコリント 13:13)

派遣の唱和

一同立ちます。

司式者 ハレルヤ、主とともに行きましょう

会衆 ハレルヤ、主のみ名によって **アーメン**

聖歌 198「喜べみ民よ」

(式文 16 頁)

後奏

会衆は着席し、司式者と奉仕者は退堂します。

感染症対策のため、着席された周囲の消毒作業にご協力ください。



司 式：宮崎 光 チャプレン

司 式：Thomas Plant チャプレン

説 教：中川 英樹 チャプレン

奏 楽：崎山 裕子 学院オルガニスト

指 揮：Scott Shaw 教会音楽ディレクター

奉仕者：立教学院諸聖徒礼拝堂祭壇奉仕者會アコライト・ギルド

立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊

立教学院諸聖徒礼拝堂ハンドベルクワイア

立教大学学生キリスト教団体 代表委員会

1 ふ き す さ ぶ か ぜ な み お こ す か ゼ
 2 も え た つ ほ の お な み ち び く し る し
 3 せ い な る れ い よ か ぜ よ ほ の お よ

き た れ せ い れ い こ の 日 こ の と き
 き た れ せ い れ い あ の 日 こ の よ う き
 こ こ ろ か き た て 火 を た き つ け よ

い き ふ き か け よ 主 の き よ う か い に
 あ ふ れ み た せ よ 主 の き よ う か い に
 お ぐ り つ づ け よ せ い な る い き を

Wind who makes all winds that blow
 Thomas H. Troeger (1945-)

FALCONE
 Carol Doran (1936-)
 acc. John Ryuta Suzuki (1959-)

い の ち あ ら た に よ び さ ま せ 主 よ
 ひ か り ち か ら を せ い な る し た ま だ
 す べ て の も の が み わ ざ し る ま で

7777D

1	吹きすさぶ風 <small>ふ かぜ</small> 来たれ聖霊 <small>き せいれい</small> 息 吹きかけよ <small>いき</small> いのち新たに <small>あら</small>	波おこす風 <small>なみ</small> この日この時 <small>ひ とき</small> 主の教会に <small>しゅ きょうかい</small> 呼びさませ 主よ <small>よ</small>
---	--	---

2	燃えたつ炎 <small>も ほのお</small> 来たれ聖霊 <small>き せいれい</small> あふれ満たせよ <small>あふれ 満たせよ</small> 光力を <small>ひかり ちから</small>	導くしるし <small>みちび</small> あの日のように 主の教会に <small>しゅ きょうかい</small> 聖なる舌で <small>せい した</small>
---	--	---

3	聖なる霊よ <small>せいれい</small> 心かきたて <small>こころ</small> 送りつづけよ <small>おく</small> すべてのものが	風よ 炎よ <small>かぜ ほのお</small> 火を焚きつけよ <small>ひ た</small> 聖なる息を <small>せいれい</small> みわざ知るまで <small>し</small>
---	---	--

使2：2-3 ヨハ20：22 使4：31 ヨエ3：1-5

1 よとろ — ころ べくと みて たん み よ
 2 とど — ころ べくと みて たん み よ
 3 ほ の — お べくと みて たん し ねと

こ の — 日 を い か わ お う
 こ ま の ば — り め を い か ひ き か たり て は

せい い なる る — い ぶ き に —
 も の え あ が — 徒 た ち の —

つ つ — ま れ — る と き き を
 こ お え と — にな ず れ ひ れ — び を し あめ を うす

8888 (LM)

Beata nobis gaudia
 att. Hilary of Poitiers (ca.315-368)

FINNART
 Kenneth George Finlay (1882-1974)

- 1 ^{よろこ}喜^{たみ}べ み民よ ^ひこの日^{いわ}を祝^おおう
^{せい}聖なる^{いぶき}息吹^に ^{とき}つつまれる^を時^をを
- 2 とどろく^{てん}天^ねの音 ^{こころ}心^ををかきた^てて
^{いの}祈^しる使徒^とたちの ^{こえ}声^にひびきあ^うう
- 3 ^{ほのお}炎^{とし}るし^と まばゆい^{ひかり}光^はは
^も燃えあ^あがる愛^の おとずれ^{しめ}を示^すす
- 4 ^{しゅ}主^{あい}の愛^つを告^げる ^{ことば}言葉^はあふ^れて
^{ちから}力^あるわ^ざは あまねく^{ひろ}広^がる
- 5 ^{あつ}熱^きまな^ざし^を ^{した}慕^うわ^が胸^にに
^{せい}聖なる^{ほのお}炎^を ^{やど}宿^{らせ}よ 永^{とく}遠^くに

使2：1-13 エフェ1：14 1コリ6：19 知11：23-26

HIS
HOY
SPIRIT
FILLS THE
WORLD